

サッカースタジアム整備の検討に係るアンケート調査の実施について（案）

1 目 的

サッカースタジアムに対する市民（県民）意識の基礎調査を行うとともに、サッカースタジアムの整備を検討する際に、市民（県民）が重要とする視点を把握することを目的として実施する。

2 調査結果の活用方法

調査結果は、最終的な候補地の絞り込み・評価の際の参考資料とする。

3 アンケート調査の留意点

分かりやすく、公平・中立で客観的な質問内容とする。

4 アンケート調査の内容（イメージ例：次回の協議会で議論）

① 基本項目

年齢、性別、居住している区

② サッカースタジアムに対する意識の基礎調査（例）

ア 現在の試合観戦の頻度

イ 新しくスタジアムができれば、観戦に行くか／行ってみたいか（候補地別）

ウ 観戦に行くとした場合の交通手段（候補地別） 等

③ サッカースタジアムの整備を検討する際に重要とする視点（例）

アクセス性、発信性、付加機能、経済やまちづくりへの波及効果、コスト性 等

④ 広島に相応しいサッカースタジアムの視点（例）

「Jリーグの提唱 スタジアムの未来」の項目のどれを広島では重視するか

⑤ 各候補地に対する思い（例）

各候補地のスタジアム・コンセプトについての共感度合いを尋ねる

5 アンケート調査の対象

広島市に在住する男女（18 歳以上）を区毎に無作為抽出

6 アンケートの規模

(1) 調査者数 2,000 名以上

(2) 要求精度 区毎で見たときの標本誤差を 10%以下に設定する。（全体では 5%以下）

(3) 回収率 40%（広島市市民意識調査 42.8%、広島市食育調査 41.5%）

(4) 標本数 800（2,000 名×40%）

(5) 調査方法 郵送調査法

7 アンケート調査の時期

○アンケート調査 平成 26 年 8 月上旬～中旬（2 週間程度確保）

○調査の取りまとめ 平成 26 年 8 月下旬